

京機会ニュース

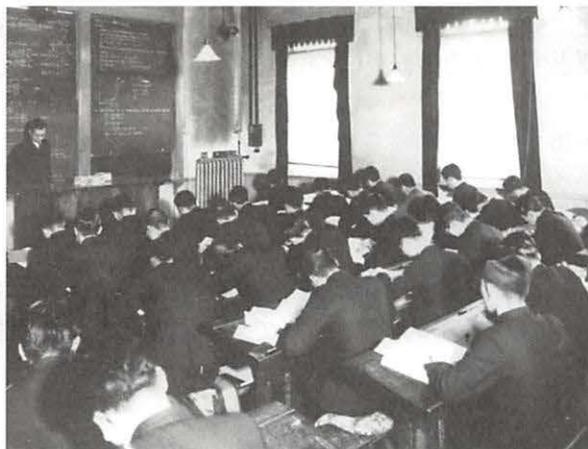
No. 10 平成 14 年(2002 年) 3 月 20 日

京都大学機械系工学会

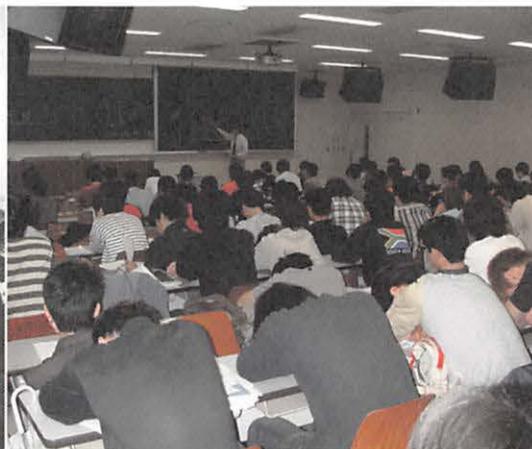
事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>



昭和 13 年の授業風景



平成 13 年の授業風景

平成 14 年度会費の納入をお願いします！

平成 10～13 年度会費の納入をお忘れの方もこの機会に納入いただきますように！

完納されますと会員名簿を無料でお送りします。

これまでの納入状況は同封の個人データ(会費欄)に記載しております。

目 次

平成 14 年度京機会春季大会・総会のご案内	2 頁	京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業	
「学生と先輩との交流会」への参加のお誘い	3	「第3、4 回リカレント教育」のご報告	8
平成 13 年度秋季大会のご報告	3	京機会 Web Forum のご案内	8
会計からのご報告と会費納入のお願い	3	教官の異動	9
関東支部からのご報告	4	会員のページ	10
中部支部からのお知らせ	5	京機会旗デザインの募集	12
関西支部からのご報告とお知らせ	5	投稿記事量についてのお願い	14
中国・四国支部からのご報告	7		

編集担当 (北村隆行、中部主敬、田中和人、段智子)

平成14年度京機会春季大会・総会のご案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催いたします。本年度も土曜日開催といたしました。
よろしくご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：平成14年4月20日（土）12：00～

会 場：京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

工学研究科物理系校舎（時計台の東方8階建て校舎）313大講義室ほか

行 事：

1. 学生と先輩との交流会 12：00～14：30
学生が企業でご活躍の先輩とお話できる機会をもてるよう、この会を準備します。

【 関西支部総会 14：35～15：05 詳細はP.6をご参照下さい。】

2. 講演会 15：10～15：55

「技術者における物理と数学の必要性と発想の転換の重要性について」

小寺秀俊 氏（S55卒、S57年修士、松下電器産業（株）にS57年からH5年まで在籍し、
H5年から機械工学専攻・助教授、H12年より教授）

機械工学の歴史と数学・物理の歴史の関連について紹介し、数値解析における数学の必要性について述べる。また、技術者がもつとも必要とする発想の転換について研究事例の紹介とともに述べる。

3. 講演会 16：00～16：45

「21世紀の工作機械ビジネス」

森 雅彦氏（S60年京大精密工卒、同年伊藤忠商事（株）入社、H5年（株）森精機製作所入社、H11年より社長）

今や、工作機械はその年間生産量の9割以上が海外で消費される時代である。森精機が過去10年間に取ってきた国内一極生産型ビジネスモデルを検証し、国際的視野に立って、今後の世界市場の推移と取り得る戦略オプションについて紹介する。

4. 総 会 17：00～17：45

- (1) 平成13年度活動報告
- (2) 会計報告、会計監査報告、決算時期変更の件
- (3) 支部報告（関西、関東、中部、中国・四国支部）
- (4) 第二世紀事業報告
- (5) 役員改選
- (6) 新年度運営方針

懇親会： 18：00～20：00

会 場：京大生協吉田食堂

会 費：3,000円、学生1,000円（当日会場でお支払い下さい）

○ご出欠のご回答を、4月10日（水）までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

○評議員の方には、評議員会（13：30～14：30）についてもご出席願います。



平成13年度秋季大会の風景

「学生と先輩との交流会」への参加のお誘い

平成14年4月20日(土)の総会に併せて「学生と先輩との交流会」を催します。これは、各会社ごとのコーナーを設けて、学生の将来・就職に関して先輩と相談する企画です。参加を希望される場合には、4月1日(月)までに、事務局に連絡願います。

会 場：京都大学工学研究科物理系校舎

- ・ 各社から1~2名の卒業生を派遣いただき、在學生に大学の機械系工学の先輩として、会社での仕事の内容・やり甲斐などをお話しいただく。

- ・ 大学の教官からは、大学院学生(M1とM2)と4年生に、ぜひこの会に出席するように指導します。なお、他学生も随意参加します。
- ・ 12:00~14:30 会社ごとのコーナーでの交流会、その後、総会および講演会と、全体での懇親会を行いますので、必ずご参加下さい。

なお、本交流会に関しましては、別途100社の人事課宛へも依頼をさせていただいております。

平成13年度秋季大会のご報告

平成13年11月9日にJR西日本のお世話により、キャンパスプラザ京都において開催された。出席75名。幹事会社から濱野清士氏(中国ジェイアールバス、S40)の挨拶があり、京機会から永井会長、藤本代表幹事がお礼と京機会の報告を行った。平田誠計氏(S43)が会社の概要を説明され、完全民営化ともあいまって、従来の鉄道事業から総合サービス業をめざしている現状を紹介された。

真下伸也氏(JR西日本、S61)が「鉄道の高速化に伴う鉄道車両の空力特性と課題について」と題する講演を行われた。概要は以下の通りであった。山陽新幹線は全線の50%がトンネルであり、列車の高速化にはトンネル突入時、通過時の空力特性の把握とそれに基づく対策が重要である。突入時の圧縮波の形成と伝搬、出口での波動の放出についての実験とシミュレーションを行い、車体形状と断面積、さらには軌道形状の違いがおよぼす影響も明らかにした。トンネル内走行時

の渦発生による横方向加速度についても解明し、乗り心地改善のための対策を行った。この研究で九州大学から学位を得た。

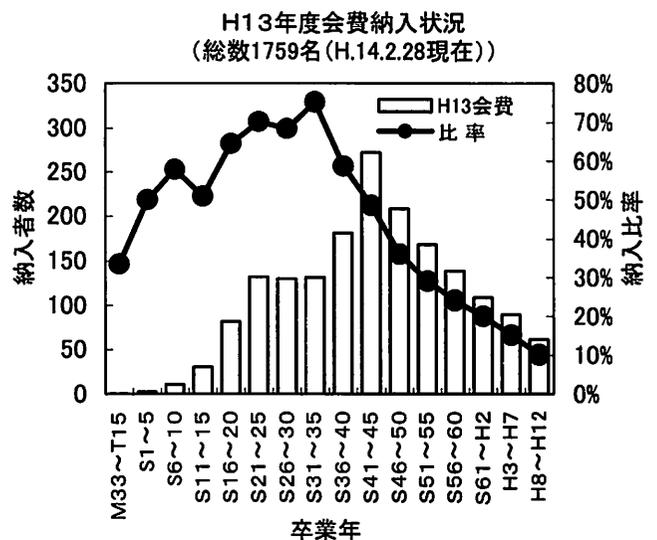
矢野誠氏(JR西日本総合ビルサービス、S53)が京都駅ビルの概要を説明され、引き続いて4班に分かれて京都駅ビルに赴いた。駅ビルの空中遊歩道を通して駅ビルのユニークさを実感し、地下ではビル全体の保安、警備、監視の中核部と熱源の供給中枢を見学した。

会場をホテルグランヴィアに移し、懇親会を行った。出席65名で盛況であった。永井会長、大谷副会長の挨拶と、出席者中最年長のおひとりである網島貞男氏(S19)の乾杯で始まった。和やかな雰囲気の中に歓談が続き、来年度秋季大会の幹事会社から松本和男氏(S41)が挨拶された。最後に福森副会長(関西支部長、S32)がJR西日本へのお礼の言葉と来年の春季大会への期待を述べ、会を終了した。

会計からのご報告と会費納入のお誘い

平成13年度は新会長の下で本部ならびに4支部の体制が整えられ、それに伴い定常的収支と特別支出の枠組みが明確となって、予算編成の方針が定まりました。詳細は、次号の京機会ニュース(No.11)にてご報告します。ただし、会費の納入率が低下傾向にあり、収入が減少していることが気懸かりです。右図は平成13年度会費の納入状況で、例年以上に若年層の納入率の低下が目立っています。

名簿データの管理、京機会ニュースの発行、本部・支部における諸行事の開催、総会・学年同窓会・研究室同窓会や各種会合のご案内、情報ネットワークの構築等、京機会の諸活動を継続して運営・維持していくため、引き続き会費納入および銀行預金口座振替の利用をよろしくお願い申し上げます。



関東支部からのご報告

第2回支部総会・平成14年新年会の報告

平成14年1月26日(土)、三菱重工横浜ビルにおいて、約110名の会員の参加のもとに第2回関東支部総会・平成14年新年会が開催された。京都大学からは大谷教授、駒井教授をはじめとして9人の先生方に出席いただいた。

総会では、まず、小澤支部長から、「昨年は関東支部、中部支部、中国・四国支部が設立された記念すべき年」、「各支部の活発な活動で人の繋がりが広がり喜ばしい。」との挨拶があった。次に、永井会長、川口中国・四国支部長から挨拶を頂いた。藤川事務局長から関東支部規約、平成13年活動報告、当番企業の交代、役員の変動、会計の報告があり承認された。それに基づき初代役員のうち京都大学代表の副支部長が松久教授から吉村教授に交代した。新しい支部役員は下記の通り。

平成14年度 関東支部役員(敬称略 *は新任役員)

支部長	小澤 三敏	住友重機械工業
副支部長	二宮 敏	バブコック日立
副支部長	寺門 良二	太平工業
副支部長	吉村 允孝*	京都大学
監事	熊澤 正博	日立製作所
事務局長	藤川 卓爾	三菱重工業
事務局次長	志摩寿一郎*	日産自動車

評議員(各幹事会社代表者、敬称略)

熊澤 正博	日立製作所	志摩寿一郎	日産自動車
大山 敏	東芝	篠原喜代司	新日本製鐵
西野征規男	日本鋼管	今井 和雄	日本電信電話
宇都宮正時	石川島播磨重工業	山田 茂樹	川崎製鉄
三澤 吉次	本田技研工業	三木 教司	住友重機械工業
江上 秀男	富士写真フイルム	藤川 卓爾	三菱重工業

会計報告

収 入		支 出	
費 目	金額(円)	費 目	金額(円)
H12年度			
本部より交付金	289,500	会議費(幹事会等)	96,933
設立総会参加会費	1,224,000	設立総会・新年会費	1,180,500
		本部への業務委託費	74,915
		支部印刷製作費	13,650
		雑費(写真代)	3,570
H13年度			
本部より交付金	247,000	会議費(幹事会等)	138,873
預金利息	74	旅費(他支部設立総会出席2回)	59,620
ゴルフ会剰余金	4,106	次期繰越金	196,619
合 計	1,764,680	合 計	1,764,680

(注) 設立総会開催通知の印刷・発送費 139,690円は本部より直接支出された

年次総会、幹事会の開催時期

1~2月に新年会と合わせて年次総会を開催し、7~8月の幹事会で、正副当番企業が交代することが決定された。

活動報告

昨年5月の中部支部設立総会、6月の中国・四国支部設立総会への事務局長、次長の出席、12月の幹事会ゴルフ大会等が報告された。

続いて、吉村教授から「各支部が出揃い評議員も決った。今後は同期会活動との連携、リカレント教育の充実を図りたい。」と本部報告があり、この中で事務局 段 智子氏の挨拶があった。次に、駒井教授から第二世紀記念事業報告として「①リカレント教育、②工場見学、③教室へのインフォメーション設備導入、④京機会 Web Forum 開設」の4件が報告された。

後半の講演会では、まず、平成14年3月にご退官予定の大谷教授が、「35年間の大学生活における節々」と題して、昭和36年の研究室配属から、戦後の新制大学としての京都大学第二期の真直中を35年間歩んで来られた節々の思い出を話された。なかでも昭和40年代前半の学園紛争の意味は大学も社会も戦前から戦後への変化であると位置付けられ、また、学生部第三小委員長としての2年間の得がたい体験からの大学の使命論を披露された。最後にご自身の研究を通じて、今後の研究のあり方として、縦断形と横断形をうまく組合わせて、産学一体化、国際化を目指すべきであると締めくくられた。

次に、小澤支部長が「私の技術屋廃業の弁」と題して、ご自身の設計・現場・営業と多岐にわたる経験から、「良否」にこだわる設計屋の世界から「善悪」でものを判断すべき経営者の世界への転換について講演された。

3組に分かれての記念撮影のあと、新年会に移行した。

新年会では、寺門副支部長から「景気回復には京機会の横の繋がりを活かした想像力・創造力・構想力が大事」との挨拶があり、出席者中最年長の原下 肇氏の発声で乾杯し、懇談に入った。

途中、出席した京機会員中、紅一点の上海出身 叶 倩氏から「海外交流も宜しく」とスピーチがあり、そのあと、事務局から「トピックス」として横浜の案内、今後の活動として「異業種交流会」などの提案、次期正副当番企業の紹介があった。

再び歓談のあと、出席者全



大谷先生



叶 倩氏

員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、吉村副支部長の「京機会を人と人のコミュニケーションに役立てたい。」との挨拶のあと、一本締めをして、盛会裡にお開きとなった。

幹事会ゴルフ大会

関東支部では、支部活動活性化の一環として、平成 13 年 12 月 2 日(日)、千葉県市原市のかずさ C.C にて関東支部幹事会のゴルフ大会を開催した。

(当日の様子は京機会 HP に掲載)



関東支部新年会の風景

中部支部からのお知らせ

平成 14 年度支部総会および懇親会日程のご案内

去る 2 月 22 日、松本支部長、松久副支部長ら出席のなか支部幹事会を開催し、本年度の支部日程を決定致しました。昨年は春に開催致しました支部総会、懇親会を本年度は秋に開催いたします。今年は京機会秋季大会が(株)デンソーで開催される予定です。中部支部としてこの秋季大会を全面支

援し、大会の盛り上げを図る意味から秋季大会と支部総会および懇親会を同時開催することに決定いたしました。

日程の詳細については秋の京機会ニュースならびに支部 E-mail 通信網などにより会員の皆様に連絡いたしますが、現時点では 11 月初旬を予定しています。

関西支部からのご報告とお知らせ

1. H13 年度支部活動報告(前号での報告以降分)

(1) 新年会(参加者数 127 名)

1 月 18 日(金) 於ホテルラヴィ大阪

当番会社 松下電器産業

当番会社と支部長の挨拶、永井会長、中国・四国支部長川口氏の祝辞、大谷教授から祝辞・大学近況報告、最年長(S10、90 才)伊藤氏の大変お元気なご発声による乾杯の後、会食・歓談。京大グッズの当たる福引き、琵琶湖就航歌大合唱など S10 から H10 年卒業まで一堂に会しての楽しい一時を過ごし、仲本先輩(S10)のご発声による万歳三唱で大盛況のうちにお開きとなった。



関西支部新年会にて

(2) 異業種交流会

H11 年度後半からの第 1 期登録会員は一応 2 年のきりとしていましたので、第 2 期会員の募集を行い、再登録を含め、90 名(第 1 期 71 名)の登録を得て、継続して交流会を行っています。

第 7 回: 7 月 5 日 於 JR 西日本(参加者数 23 名)

講演: 「最近の鉄道車両高速化の技術」

影山真佐富氏(S63)

工場見学: 吹田工場見学、懇親会

第 8 回: 9 月 20 日 於住友金属関西製造所(参加者数 23 名)

講演: 「最近の鉄道車両用輪軸と台車」仲居拓自氏(H5)

工場見学: 製鋼製品事業所見学、懇親会

第 9 回: 12 月 17 日 於三菱電機先端技術研究所

(参加者数 24 名)

講演: 「マイクロシニング技術を用いた非冷却赤外線センサ」

高木義幸氏

「ジェットスリットヒートシークの基礎検討」加賀邦彦氏(S63)

事業所・研究所見学: 先端技術総合研究所、系統変電・交通システム事業所、通信機製作所

懇親会

第 10 回: H14 年 3 月 6 日 於コマツ(参加者数 30 名)

講演: 「次世代油圧ショベルの開発について」

岩本祐一氏(S57)

「製造現場の IT 化の取り組み」八尾佳宏氏(S58)

工場見学: 大阪工場、懇親会

(3) 産学交流会

第2期登録会員(熱流体42名(前回35名)、3交会85名(前回74名))の参加を得て継続実施を行っています。

・熱流体懇話会

第6回:7月14日(参加人数19名)

「エアリアル乾燥システムの凝縮性能」シャープ 多久島朗氏(S53)

「水飲み鳥とヒートパイプ」京大 牧野俊郎氏(S47)

第7回:10月13日(参加人数36名)

「クワイエレクトロニクスの冷却とパルス管冷凍機」

ダイキン工業 康 倫明氏(S48)

「独立行政法人、産業総合研究所の紹介」

産業総合研究所 川口靖夫氏(S53)

・設計・製造・材料・機素・振動懇話会(京機3交会)

第7回:7月14日(参加人数22名)

「予見制御法によるコンパド追従制御の実現」

株式会社 小島敬良氏(S52)

「カオスの話」

京大 中井幹雄氏(S37)

第8回:10月13日

(参加人数22名)

「HDD用ディスクの加工」

神戸製鋼 原 宣宏氏(S53)

「マイクロマシン研究の現状と動向」

三菱電機 武田宗久氏(S54)

第9回:12月22日(参加人数29名)

「関西製造所における熱間鍛造技術について」

住友金属工業 田村憲司氏(H元)

「京機 Web Forum について」および「大学独法化・改組・機械工学教育研究のあり方について」

司会 京大 久保愛三氏(S41)

(4) 京機・京都の会のご報告

第13回例会

日時: H13年12月1日(土) 12時~14時30分

場所: 都ホテル3階 菊の間

参加者: 奥島啓式氏(S12卒) 他18名

話題:

1. 「学生時代の本を再読」 大矢根守哉氏(S21)
2. 「四つの賞杯(機械教室のスポーツ)」 森美郎氏(S22)
3. その他

第14回例会

日時: H14年3月2日(土) 12時~14時30分

場所: 都ホテル3階 菊の間

参加者: 大矢根守哉氏(S21) 他13名

話題:

1. 「歯車随想(サンダーランドを軸に)」 中井肇氏(S22)
2. その他

2. H14年度活動計画

下記記事は日程が決まり次第、京機 HP (月2回更新) にご案内を掲示いたします。ふるってご参加ください(URLは<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)。

- (1) 支部総会: 4月20日春季大会・総会同日開催
- (2) 新年会: 1月神戸製鋼所の当番で実施
- (3) 異業種交流会: 年4回企業持ち回りで開催予定
登録会員にはその都度E-mail等により案内をいたしますが、未登録の方もHPをご覧ください。奮ってご参加下さい。
- (4) 産学交流会: 年4回程度土曜日大学で開催予定
ホームページをご覧ください未登録の方もふるってご参加下さい。
- (5) 有志懇談会: 昼食前後に出席者の話題提供と懇談

関西支部総会のお知らせ

日時: 平成14年4月20日(土) 14:35~15:05

場所: 京都大学物理系校舎

議事: H13年度活動報告と会計報告

H14年度支部役員選出

会計年度の変更

H14年度活動計画(予算)審議

その他

産学交流会のお知らせ

設計・製造・材料・機素・振動懇話会(京機3交会)

日時: 平成14年3月30日(土)

場所: 京都大学物理系校舎

演題: 「工作機械と生産システムの現在と未来」

京都大学 垣野義昭氏(S39)

「3DCADを中心としたコンカレントエンジニアリングの取り組み」 三洋電機 河田 宏氏(S45)

京機九日会のご案内

平成14年度の京機九日会を下記の通り開催致します。参加ご希望の方は下記幹事又は委員までお申し出下さい。(京機事務局へご連絡いただいても結構です。事務局より役員へ連絡いたします。)

開催日: 2/9(土)(開催済)、4/9(火)、6/10(月)

8/9(金)、10/9(水)

時間: 11時から14時まで

場所: 中央電気倶楽部(大阪市北区堂島)

会費: 4000円

幹事: 橋本 昌(S31)、友田 勇(S31)、他S31年卒の会員

委員: 大矢根守哉(S21)、尾谷博敏(S23)、森川龍一(S25)、松浦精一(S25)、小浜弘幸(S32)

中国・四国支部からのご報告

2002年度支部総会・懇親会の報告

2002年度支部総会は平成14年2月8日(金)、三井造船株式会社玉野事業所において31名の参加のもとで開催された。京都大学からは鈴木教授、島教授をはじめとして多数の先生方にも出席いただいた。

川口支部長の挨拶に引き続き、永井会長のご挨拶があり、運営会議から提出された議案の審議がなされ満場一致で承認された。承認された支部役員および主要な議案は以下の通りである。

2002年度 中国・四国支部役員 (敬称略、*印は新任役員)

- ・支部長 川口 東白 宇部興産(株)
- ・副支部長 琵琶 忠志 三井造船(株)
- ・副支部長 稲本 信秀* マツダ(株)
- ・副支部長 阿部 武治 岡山大学
- ・副支部長 石川 浩 香川大学
- ・副支部長 島 進* 京都大学
- ・監事 鷲尾 誠一 岡山大学
- ・事務局長 薦田 哲男 三井造船(株)
- ・事務局次長 田端 茂夫* マツダ(株)

評議員 (各幹事会社・大学代表者、敬称略)

- 河田耕一 高知工科大学 手島清美 元京都大学
- 濱野清士 中国JRバス(株) 小島達雄 日本鋼管(株)
- 宇野義幸 岡山大学 三原 豊 香川大学
- 藤村雅範 MHIターボテック(株) 藤田卓一 (株)アイメックス
- 石崎幸人 四国電力(株) 花崎 襄 川崎重工業(株)
- 吉里 勉 川崎製鉄(株) 道中眞典 中国電力(株)
- 浅田博司 住友重機械工業(株) 後藤 宏 宇部興産機械(株)

総会の開催時期について

本部の総会(4月)への役員候補選出も兼ねることから1月後半~2月前半に開くことが決定された。

・2001年度活動報告

昨年6月16日に広島で開催された支部設立総会、支部役員懇親ゴルフ、本部・各支部大会、新年会への支部長出席等が報告された。

会計報告

収 入		支 出	
費 目	金額(円)	費 目	金額(円)
本部より準備金	39,789	会議費(設立準備)	39,789
本部より交付金	68,500	設立総会・懇親会費	543,738
設立総会参加会費	576,000	支部印製作費	16,065
		次期繰越金	84,697
合 計	684,289	合 計	684,289

(注) 設立総会開催通知の印刷・発送費29,520円は本部より直接支出された

次回総会

2003年1~2月頃 広島にて開催予定。(幹事:マツダ(株))

続いて、三井造船(株)下津正輝氏より「燃料電池開発の現状と将来」と題して、燃料電池全般に関する解説から、氏が

10数年来開発してきた平板型固体電解質形燃料電池(SOFC)について、実物セルを紹介しながら、技術の現状レベルから将来への展望を解説いただいた。

冒頭、永井会長のご挨拶の中でも触れられたが、21世紀の新しいエネルギー技術として燃料電池は今後ますます重要性を増すものと考えられ、産学一体となった技術開発の加速化が望まれるところである。

引き続き、玉野事業所艦船工場および機械工場の工場見学を実施した。艦船工場では、鋼板の切断現場から、1月18日に進水した地球深部探査船「ちきゅう」(海洋科学技術センター)の船内機関室等の見学を行った。

機械工場では、当事業所の主力製品である舶用大型ディーゼル機関の一連の機械加工工場見学を行い、最後に組立工場において試運転現場を体験した。

懇親会は、同所本クラブ食堂で開催され、支部長挨拶、新副支部長稲本氏の乾杯の音頭のあと、和やかに歓談がなされた。スピーチでは、三井OBの表氏(S34)より、本日は機械工学の原点とも言うべき大型機械の生産現場を見ていただいたが、若い技術者に対してはこのような分野にももっと興味を持っていただければと希望が述べられた。最後に「琵琶湖周航の歌」を全員で合唱し盛会裡に散会した。

なお、副支部長琵琶忠志氏におかれましては、当初、本総会でのご講演をお願いしておりましたが、平成14年2月16日未明、ご病気のためご逝去されました。ここに謹んでご報告致しますと共に、故人のご冥福をお祈り申し上げます。



技術講演の風景



懇親会での琵琶湖周航の歌合唱

京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業

「第3、4回リカレント教育」のご報告

京機会秋季大会に合わせて、機械系工学教室第二世紀記念事業のひとつであるリカレント教育（第3回）を、下記のように実施しました。

日時：平成13年11月9日（金）13:00～15:00

場所：キャンパスプラザ京都（京都駅前）

講師：松久 寛（S45、精密工学専攻教授）

「振動工学の最近の動向とトピックス」

また、関東支部総会に合わせて、リカレント教育（第4回）を、下記のように3講義並列開講で実施しました。

日時：平成14年1月26日（土）13:30～15:50

場所：三菱重工横浜ビル3304～3306室

1. 設計：松原 厚（S60、精密工学専攻助教授）

「機械設計者のための制御理論とその応用」

2. 材料：北條正樹（S54、機械工学専攻教授）

「複合材料の特性と構造材料への応用例の紹介—力学特性を中心として—」

3. 熱流体：吉田英生（S53、機械工学専攻教授）

「せん断乱流の数値予測—乱流モデルの考え方—」

第4回については、吉田自身も講師を担当させていただきましたので、やや詳しく報告いたします。みなとみらいの33階にセットされた会場からは、天候には恵まれなかったものの、それでも横浜港のすばらしい景色が見渡せ、思わず荒井由美の“海を見ていた午後”を口ずさみたくなるような雰囲気でした。

講演後、松原氏の講義に参加された方からは、「古典制御の簡単な制御理論を、ボード線図を主体に概念として分かるように、送り系を例に取りとても分かりやすく講義していただきました。（中略）現代制御・アドバンスド制御まで順次やっ

ていただけるのを、期待しています。」との感想を、また北條氏の講義に参加された方からは、「北條教授の軽妙な話振りに、しかもテンポ良く進行し、あつと言う間に、2時間半が過ぎました。主として飛行機に使われる炭素繊維と樹脂からなる複合材料の力学特性については自分にとって数年前の、現役時には感じられない程素直に吸収出来たような気がしています。最新の研究内容は論文縮刷も配布され、久しぶりにちょっとアカデミックな雰囲気に浸れました。」との感想が寄せられました。吉田の部屋は他の2部屋に比べて少人数だったのですが、お一人お一人の表情を確認しながら進められた点で、また吉田の説明が不十分なときには途中で質問していただけた点で、ふだんは顔がよく見えない100名を超える工学部理工学科（機械システム学コース）の学生に授業を行っているのとは全く異なった、貴重な経験をさせていただきました。一部の方には、“大先輩に説法”となってしまっただけで、恐れ多くもあるのですが、乱流モデル特有の複雑な偏微分方程式がたくさん出てくる講義に2時間あまりお付き合いいただきました参加者の方々に感謝いたします。

最後になりましたが、第4回のリカレント教育は、三菱重工業株式会社の藤川卓爾氏をはじめとする方々の懇切かつ周到な準備のもとに実施されましたことを付記し、お礼申し上げます次第です。

（文責：吉田英生（S53））



リカレント教育のひとつま
（講師：北條先生）

京機会 Web Forumのご案内

——就職・転職、技術相談コーナー開設——

京機会では、会員同志の情報交換の場としてWeb Forumを開設しました。会員の林莞爾氏（S43）のご協力を得て、Geumのホームページをお借りする形で運営しています。Forumの活動には、京機会会員諸兄の積極的な参加が不可欠です。まだ、試験運用の域を出ない状態ですが、どうかご協力をお願い申し上げます。

このフォーラムは①「お知らせ掲示板」：Forumの運営その他の意見交換、②「就職・転職フォーラム」：学生、院生と先輩会員との情報交換、③「技術フォーラム」：会員同志の技術情報の交換、から構成されます。当面は時期的にも②「就職・転職フォーラム」の活用を呼びかけたいと思っております。すでに社会人になられている会員の皆様には、このForumに入ってください。Forumに載せにくい内容を相談されたいときは、互いに自分のメールアドレスや電話番号等を明らか

にして、直接接するきっかけに使ってもらって結構です。良い意味での会員同士の「出会い系サイト」にしてください。手始めに、既掲載の例に倣って「自己紹介」を載せてください。また、Forumの運営に対するご意見は、①「お知らせ掲示板」に記入ください。

利用方法：1. URL：<http://www.geum.co.jp/keikikai/>
2. 利用者登録：a)*のところのみ入力、b)新規登録パスワードは京機会ニュースに同封の個人データカードに印字されています。c)「希望する個人パスワード」には各自のパスワードを入力。この個人パスワードはメールでForum管理者（当面、事務局の段さん）に暗号化せず通知され、セキュリティー管理が十分ではありません。所属組織のメールサーバーに入るパスワード等とは別のパスワードを設定下さい。d)登録後直ちにメールで個人IDが送られてきます。3. 個人IDを用いて他のページに入ってください。以上よろしくお願ひ申し上げます。（担当：松久寛（S45）、北條正樹（S54））

教官の異動

退官 大谷隆一教授：本年3月31日停年退官予定

就任

福永俊晴教授：昭和54年東北大学大学院工学研究科博士課程修了、学振研究員、新技術開発事業団研究員を経て、昭和59年東北大学金属材料研究所助手、平成元年名古屋大学工学部助教授、平成10年京都大学原子炉実験所中性子科学研究部門教授。専門は非平衡物質の中性子散乱・X線回折であり、主に金属ガラス、カルコゲナイドガラスそして酸化ガラスの構造の基礎研究、水素吸蔵材料や電池材料などのエネルギー材料そして超高温構造材料の構造学的応用研究を行っている。



北條正樹教授：昭和54年京大・工・精密工学科卒業。昭和56年修士課程物理工学専攻修了。同年より通産省工業技術院製品科学研究所に勤務した後、平成4年に工学部附属メゾ材料研究センター助教授に転任。平成13年12月に機械工学専攻機械材料力学講座連続体力学分野教授に昇任。先進複合材料の疲労と破壊、メゾスケールでの力学特性評価と材料構造制御、超伝導複合材料の力学特性と電気特性の相関の研究に取り組んでいる。著書は「複合材料」、「材料特性と材料選択」。趣味は鉄道研究会の顧問の他、クラシック音楽、写真、古寺巡礼。



榎木哲夫教授：昭和56年京都大学工学部機械系学科卒業、昭和58年同大学院精密工学専攻修士課程修了、昭和61年同博士後期課程を指導認定退学。同年京都大学工学部精密工学教室助手、平成6年同助教授、平成8年京都大学大学院工学研究科に配置換、平成14年3月1日より同精密工学専攻デザインシステム論講座教授。デザイン論、人間-機械系設計、システムの知能化、熟練技能の工学的モデル化などに関する教育・研究に従事。平成3年～平成4年米国スタンフォード大学工学部客員研究員。京都大学工学博士。趣味は京らしい酒肴の在処の探訪。



神野伊策助教授：平成元年大阪大学原子力工学科卒、平成3年大阪大学原子力工学専攻修了、同年松下電器産業(株)入社、強誘電体薄膜形成プロセスおよび圧電デバイス応用に関する研究開発に従事。平成14年同社退社、同年3月より本学機械工学専攻機械システム工学講座助教授。薄膜材料およびMEMSデバイスの研究を推進。



異動 井田正明助手：本年3月1日大学評価・学位授与機構助教授に就任

川那辺洋助教授：平成7年に京都大学大学院機械工学専攻博士後期課程を研究指導認定退学後、京都大学工学部助手に就任、平成8年本学エネルギー科学研究科助手を経て、昨年11月15日に助教授に昇任。同研究科エネルギー変換科学専攻に所属し、乱流燃焼の機構解明およびモデリングを専門としている。



長田孝二講師：平成4年九州大学工学部化学機械工学科卒業、平成6年同大学院修士課程修了、平成7年同大学院博士課程退学。平成7年九州大学工学部助手、平成10年京都大学工学研究科助手、平成13年11月工学研究科講師。平成12年京都大学博士(工学)取得。現在、工学研究科機械工学専攻熱流体工学講座(流体工学分野)に所属し、主に化学反応を伴う乱流場での混合反応機構の解明、密度成層流の乱流構造とスカラ輸送に及ぼす浮力効果、気液界面を通しての熱と物質の交換機構の解明、乱流の数値シミュレーションに関する研究に従事している。



岩井裕講師：平成5年京都大学機械工学科卒業、同8年京大大学院修士課程、同11年博士後期課程修了。JSPS特別研究員(PD)を経て、平成11年4月本学助手採用。平成13年11月1日より講師。大学院工学研究科機械工学専攻熱流体工学講座に所属し、現在はマイクロガスタービン用再生熱交換器の高性能化、特殊乱流場の直接数値解析、マイクロスケールにおける伝熱現象の解明などの研究を行っている。



津守不二夫助手：平成6年東京大学金属工学科卒業、同8年東大大学院修士課程金属工学修了、同11年東大大学院博士後期課程を修了。その後、同大学技術補佐員、大阪府立産業技術総合研究所客員研究員を経て同13年10月16日、本学助手。東京大学においては、マイクロ-マクロ連成モデルによる粉末冶金プロセスのシミュレーション開発の研究を行い、大阪府立産業技術総合研究所では新たな粉体成形プロセスの開発に従事した。現在、大学院工学研究科機械工学専攻加工プロセス工学講座に所属し、粉体成形、焼結の計算機解析および実験からプロセス中の粉体挙動の解明やこれら製品の高性能化に向けた研究を行っている。



会員のページ

大谷隆一先生ご退官記念シンポジウム・記念パーティー

大谷隆一先生がこの春ご退官になられます。そこで、ご退官を記念して5月にイベントを開催いたします。

シンポジウム：5月11日（土）10:00～16:00

京都大学 工学研究科 物理系校舎

パーティー：5月11日（土）17:00～19:00

ホテルグランヴィア京都 古今の間

どちらか一方のみのご参加でも結構です。参加申込等、詳しくは下記のHPをご覧ください。

<http://cyber.kues.kyoto-u.ac.jp/index.html>

問合せ先：梅野・大杉 TEL：075-753-5192

E-mail：umeno@kues.kyoto-u.ac.jp

第14回機河会(河本研究室同窓会)開催のご案内

と き：平成14年8月24日（土）12:00～16:00

ところ：京大会館 SR室

幹事：椿本敏弘（昭和42年卒、大阪ガス（株））

昭和44年卒同期会のお知らせ

日時：平成14年5月18日（土）17:00～

場所：京大会館

問い合わせ先：並木

詳細の案内は後日メールでお送りする予定です。メールアドレスを登録していない方は並木宛ご連絡下さい。

昭和45年卒同窓会のお知らせ

日時：平成14年4月6日（土）16:00～

場所：京都大学物理系新棟806室

連絡先：田保

昭和58卒業(54入学、60修了)同窓会のお知らせ

卒業してから20年になろうとしています。下記の要領にて同窓会を開催いたしますので奮ってご参加下さい。

日時：平成14年11月23日（土、祝）18:00～

場所：ホテルグランヴィア大阪（JR大阪駅構内）

会費：約10,000円

幹事：今谷勝次 TEL/FAX 075-753-4915

Email imatani@energy.kyoto-u.ac.jp

詳しくは、HP

<http://force.energy.kyoto-u.ac.jp/~imatani/doso.html> をご覧ください。たまに更新しています。

京機乙酉会(昭和20年卒業)例会報告

幹事 谷口 浩、角田晴雄

I. 日時 平成13年10月27日（土）PM 0:00～2:00

II. 場所 ホテルグランヴィア京都 5階 千載の間（京都市下京区）

III. 出席者 谷口 浩、伊東良太、奥平俊介、坂田修治、川崎恒夫、宮下 稔、池上達治、西八條實、金多信雄、角田晴雄以上10名（P.13の記念写真中、向かって左からの順）

乙酉会は昭和50年に卒業30周年記念、昭和60年に卒業40周年記念と夫々例会を開き、以降略々2年に1回の割合でその年の10月末頃に開催されています。

終戦直後の昭和20年9月に卒業した私共も今は80才に手が届く年となり、40名の卒業生も現在連絡が出来る人は22名となりました。この処、毎回出席者が減少する傾向にありますが、幸に今回も10名の出席を得ました。東京の方にも便利なように場所もJR京都駅のホテルグランヴィア京都に定め、食事も身体にやさしい和風会席で、久しぶりの再会に心置きの無い会話の場を持つことが出来ました。話題は御多分に洩れず健康問題が多く、多年の実体験からの蘊蓄の程が活発に披露され、各自大いに得る処があったように見受けられました。

次回は平成15年の秋の予定であります。当会では、例会の出欠の回答ハガキに各自の近況を記して頂き、その全コピーを出席者には例会開催までに、欠席者には会合後に例会経過報告を共にお送りすることにして情報交換を密にし喜んで頂いております。（P.13の写真参照）

京機22年クラス会報告

(1) 平成13年京機22年会開催

10月26日京都新阪急ホテルにて開催。出席者22名、夫人6名計28名。

(2) 平成14年春会合は3月26日大阪倶楽部にて開催。

(3) 「余滴4号」平成14年2月発行。

(4) 会員死亡 吉田治夫 平成13年12月

渡辺良平 平成14年1月

（岸本雅夫 記、P.13の写真参照）

京機23年会平成13年度同窓会報告

1. 開催日：平成13年11月15日（木）

2. 会 場：京都センチュリーホテル

参加者は16名で昨年より3名増。東京、富山、広島等遠方から7名が参加し、楽しい一時を過ごすことが出来ました。その後、数名の有志で東福寺の紅葉を見に行きました。大変綺麗な紅葉で、薄緑・黄・橙・赤のミックスで、丁度見頃でした。全員感嘆しました。

平成 14 年度の同窓会は 11 月 14 日（木）に決まりました。尚、幹事は交代することになり、西岡邦夫、岐美格の両兄にお願いすることになりました。

（幹事：高橋・山田、P. 13 の写真参照）

五十年会(S25 卒)2001 年秋季例会報告

幹事：長尾剛一、野木圭三

I 日時：平成 13 年 10 月 29 日（月）11：00～14：00

II 場所：「(社) 大阪倶楽部」(大阪市中央区今橋)

III 出席者：小澤和雄、木本正文、合田英之、清水光明、
下間頼一、田中裕、長尾剛一、野木圭三、畠正雄、
福井紀生、松浦精一、真部広隆、森川龍一、
大和久士、山中正敏、以上 15 名

IV 会の進行

1) 報告事項：

畠君、森川君の両幹事から長尾、野木の両名が幹事を引き継ぐ。本年 5 月の第 57 回例会以来、同窓諸兄皆さんご無事の報告。森川君から京機会秋季大会の紹介。

2) 卓話：野木から説明

大阪のシンボル・ストリート「御堂筋」、その中心的存在のガスビル、八階にある大阪の欧風レストランの草分けの一つであるガスビル食堂について、70 周年をひかえて発刊された「ガスビル食堂物語」のリーフレットをもとに、その歴史を振り返ると共に御堂筋の新たな魅力の発見、御堂筋の活性化を「新しい時代の御堂筋」協議会作成のパンフレットをもとに説明、ガスビルを建設した大阪ガス第 3 代社長片岡直方氏、それをサポートした第 4 代社長で我々の大先輩の井口竹次郎氏、共に偉大な経営者であったお 2 人の人物像、お 2 人の関係等について紹介した。

3) 食事と歓談：

本年創業 170 周年を迎えた花外楼の昼食食事の後、久しぶりに出席の真部君を皮切りに、出席者全員が順次、近況を語り合った。体力は衰えて来ているが、ボケ防止、健康維持に囲碁、パソコン、社会奉仕、旅行、畑仕事等を楽しんでいる等、話しが弾んだ。

4) 次回例会と記念撮影

今回は出席者の多数意見で今回と同じ大阪倶楽部で平成 14 年 5 月 9 日（木）に開催の予定、最後に全員の記念写真を撮影し解散。（文責：野木圭三、P. 13 の写真参照）

京機 26 年会 50 周年記念同窓会

平成 13 年 10 月 26 日、50 周年記念同窓会を開催した。今回は 50 周年のこととて加藤、塚本の両君があらかじめ教室の見学等お願いしたところ、藤本、垣野、松久、牧野の諸先生と事務局の段様には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。また加藤君の会社の塚様には諸連絡はもとより立派な冊子まで作っていただきました。感謝の至りです。

当日は周囲の変わりように戸惑いつつ 10 時に教室に集合、

諸先生方から懇切なご説明をいただき、垣野先生には教室の隅々までご案内していただいた。全く様変わりした設備と講義には驚いたことでした。見学後我々の卒業論文も見せていただき、手書き、青写真に懐かしさを覚えると同時によくこれで卒業できたことと冷や汗ものもの者もいたようです。

見学を終わって河道屋で会食、卒業時の教室主任であられた奥島先生をお招きし、昔ながらのお元気な温顔で含蓄あるお話しを聞く事が出来たのは喜びであった。例によってともすれば健康の話しになりがちであったがそれぞれの近況を話し楽しい一刻を過ごした。記念撮影の後、京大博物館を見学し来年京都での再会を約し解散した。

参会者はつぎの通り。

奥島啓式先生、大塚義和、岡田守男、加藤孝之、小坂 茂、佐々波昭二、佐山 浩、塚本恭之、戸川 昭、豊島敏雄、永井 巖、長野一成（ご令妹）、細辻寛二、村上浩路、吉川和彌、渡辺忠淳、(会員 15 名)

幹事：加藤、小坂、塚本、吉川（吉川記、P. 13 の写真参照）

悟美会(S28 卒)卒業 48 周年総会報告

2001 年 11 月 6 日（火）11：30 よりホテルヒルトン大阪 35 階で行われ、20 名の会員の出席を得て、なごやかな歓談に一刻を過ぎました。席上、中川隆夫幹事より悟美会の今後の運営につき、「総会は地域もちまわりで 2 年ごとに行う。総会の席上で次回地区の世話係 1 名以上を決めて依頼する。この世話係を中心に、地区会員全員で次回総会の運営を行う。」ということ骨子とする案を説明し、出席者全員異議なく承認しました。

今回は 2003 年に卒業 50 周年記念総会として京都で行う予定です。（幹事：中川 隆夫記、P. 13 の写真参照）

昭和 30 年卒同期会開催の報告

開催日：平成 13 年 9 月 15 日（土）

会 場：京都市 聖護院 御殿荘

昭和 30 年卒業のクラス会は幹事持ち回りで 2 年ごとに開いています。今回は母校最寄りの場所でシーズンに先がけて行いました。（会場のオーナーは京大卒の弁護士）

先ず学生時代には縁の無かった舞妓さんの京踊りから始めました。そのせいか大層盛り上がり、各人の現況報告では持時間オーバーが続出しました。一泊者は翌日京大を表敬訪問。日曜日にも関わらず藤本教授が案内して下さり感激しました。機械工学科の新館は時計台よりも高く、その最上階に眺めの素晴らしい京機会の部屋がありました。

学生諸君も日曜日にも関わらず登校している者も多く、頼もしく感じました。（幹事：撰・亀山、P. 14 の写真参照）

京機 32 会同窓会報告

11 月 15 日に総勢 35 名で 2 年に一度が恒例の平成 13 年度同窓会をもった。今回は初めての企画として関東地方開催と

なり、関東在住の方々の一方ならぬご尽力のおかげで、横浜はベイブリッジを眺めるランドマークタワーの会場で開催された。豪華な会場と横浜での会食はやっぱり中華の美味に舌鼓を打ちながら2年ぶりの旧交を温めた。

夫婦同伴参加もすでに3回となり、奥方達もそれぞれ気心が知れて遠慮がなくなって来ており、楽しい一時を過ごすことが出来た。約3時間の本会合の後はランドマークタワーの最上階のラウンジに席を移し、カクテルを片手にしばしの歓談を楽しむ。当夜はタワーの高層階の部屋にリーズナブルな値段で宿泊、翌朝富士山の朝焼けに感動。

次回平成15年京都での再会を誓って名残惜しく別れを告げた。
(文責：坂戸、P.14の写真参照)

京岬会(33年卒同期会)報告

平成13年10月17日夕刻に伊豆・大仁ホテルに16名が集合。京機会年度幹事の野田氏からの報告、本会の今後の運営等の協議のあと懇親会を開催、更に二次会でのカラオケや囲碁など旧交を温め楽しい一時を過ごしました。

翌日は伊豆大仁CCでゴルフを楽しむ予定でしたが生憎と季節はずれの台風に見舞われスタートはしたものの猛風雨と寒さの為ハーフで打ち切り、後はクラブハウスで鬱憤ばらしを兼ねた酒盛りとなりました。

楽しく且つ長く記憶に残る出であろう2日間でした。尚、来年は中部地区で開催することを決めております。

(幹事：梅本 毅、鈴木俊夫(記)、P.14の写真参照)

昭和35年同窓会報告

全国ベースの同窓会を2年ごとに行う予定が、幹事(今回は関東地区担当)の怠慢で3年ぶりに晩秋の11月24日(土)～25日(日)に神奈川県湯河原温泉大観荘で開催されました。年のせいか、事前のアンケートでは1位湯河原、2位熱海、3位東京、4位伊豆と温泉場が上位を占めました。

関東、中部、近畿、九州の各地から17名とご夫人2名の合計19名が出席し、温泉入湯、京都大学学歌(九重に花ぞ匂え

る)CDを聞いた(残念ながら斉唱とはいかず)後の食事、そして学生時代と同様に、盃を酌み交わしながら夜の更けるのも忘れて懇談にと楽しい一時を過ごしました。

会ってみると全員3年前と少しも変わらず元気で、自然と話の輪が広がり、幹事としては大変楽しい会でした。ちなみに温泉の効能には子宝の湯とあり皆さん何歳か若返ったようです。

次回は中部地区を幹事として2年後に再会を約束し散会しました。
(太田脩二記、P.14の写真参照)

昭和43年卒 平成13年同窓会

恒例となった同窓会を今年11月23日に広島県福山市で行ないました。

NKK 福山製鉄所の見学後の同窓会には不便な場所にもかかわらず30名が参加し、それぞれの近況報告など久々の楽しい会話で盛り上がりました。翌日は有志がスコットランド風の瀬戸内海ゴルフクラブでのプレーを堪能しました。

平成14年は竹村、北田、谷口君を中心に阪神地区での開催となります。多数の皆様との再会が期待されます。

(平成13年幹事：小島達雄、城之内幸夫、P.14の写真参照)

花房研究室同窓会報告

毎年秋開催している花房研究室同窓会を、2001年も11月17日、新都ホテルにて開催いたしました。同窓会では「ハイテク懇話会」と題する同窓生の研究発表の場をもうけておりますが、今回もお二方から興味深いご講演をいただきました。その後宴会に移り、花房先生を始めとする参加者が互いの近況を報告したり、歓談したりと楽しい時を過ごしました。遠方の方、毎年参加される方、お久しぶりに参加された方等、いろいろですが今回は先生を含め27名の御参加をいただきました。2002年も例年通り開催いたしますのでみなさま振るってご参加ください。

(市原順一(S48 修士) 記、P.14の写真参照)

京機会旗デザインの募集

京機会では会旗を作製する計画があります。ついてはデザインを公募いたします。大きさ以外の規定はありません。締め切り後、本部で選考し、決定した作品は、HPと次号の京機会ニュース(No.11)にて発表する予定です。皆様、奮ってご応募下さい。

- 大きさ：縦 90 センチ×横 135 センチ (もしくはもう少し大きめサイズ)
- 応募締め切り：6月14日(金) 必着
- 応募先：京機会事務局 (郵便・メール共可)



時計台記念館いよいよ着工！

左写真：物理系新棟 8 階から西方を望む。時計台左手奥は 3 月末に完成する共通管理棟。時計台は本格的な改修に入り、平成 15 年秋に、百周年時計台記念館として完成予定。

右写真：改修工事開始直前の時計台。



京機乙酉会(昭和 20 年卒業)例会



五十年会(S25 卒)2001 年秋季例会



京機 22 年クラス会



京機 26 年会 50 周年記念同窓会



京機 23 年会平成 13 年度同窓会



悟美会(S28 卒)卒業 48 周年総会



昭和30年卒同期会



昭和35年同窓会



京機32会同窓会



昭和43年卒同窓会



京岬会(33年卒同期会)



花房研究室同窓会

投稿記事量についてのお願い

最近、皆様からの同窓会案内・報告のご投稿が増えてまいりました。有り難い限りですが、会員のページ掲載紙面に限りがありますので、次号 (No. 11) より記事原稿は、字数550字 (約1/4ページ) 以内でお願いさせていただきますことになりました。写真掲載希望の場合は、300字以内でお願いします (写真はデジカメ映像も可。写真は、編集後返却いたします)。なお、次号 (No. 11) の原稿締め切りは7月末日です。